

## 事業所訪問

「こんにちは 健保組合です！」

# 『安房運輸株』の巻

啓蟄を過ぎて寒さも和らぎ、心地よい薄日が時折地上で活動を始めた動物たちに恵みを与えている、そんな三月十三日、事業所訪問の第二回目として、房総の南端・館山市にある安房運輸株式会社を訪ねました。館山は、いち早く春の便りを発信する地域です。この日も、南房の豊富な花を鑑賞にきた観光客たちで、金谷港は賑わっていました。

今日お邪魔する安房運輸も春の妖精たち（花）を運搬する会社です。

私たちは、先般開通した館山自動車道を経由して南へと車を走らせました。内房の海を右手に眺め、館山の市街地へと入り目的地に到着。

社屋は、一階が業務部、二階が総務部となっており、入口を入って階段を上りご挨拶すると、社会保険事務担当の方が、笑顔で出迎えてくださいました。

社屋へ入ったときから、春の香りがあちこちに漂っていました。それ

もそのはず、本社には随所に生花が飾られており、訪れる人を歓迎しているように見えました。

社長室に入室すると、西郷社長が元気な声で迎えてくださり、安田部長と、当組合の健康管理事業等推進委員会体育奨励部会の委員である斉藤課長の両氏がご同席くださいました。

## 同社でフルマラソンにも挑戦

最初の話題は、健康増進に関することでした。

同社は、社をあげて積極的に健康増進を推し進めておられ、それは驚くほどバラエティーに富んでいます。そのひとつに、年中行事として定着した社内運動会があります。これは毎年十一月三日を開催日と定め、昨年で六回目を数え、社員・家族をはじめ総勢約五〇〇名という大人数で行われ、さまざまな競技や模擬店、

大きく引大会など、盛りだくさんの内容で開催されています。しかも驚いたことに、これだけの催しをすべて社内のスタッフで企画運営しているとのこと。また、ソフトボール大会は、女子も含めた一五〇名規模で行われ、恒例行事となっています。

さらには、昨年から地域の駅伝に同社名でエントリーし健闘。その後、フルマラソンにも挑戦され、照準はますます高まるばかりで、将来は安房運輸のゼッケンをつけた全国レベルの選手の誕生も期待できそうです。

また、ゴルフコンペも、年二回開催されています。西郷社長は先代の鈴木社長に「ゴルフを始めた年齢の半分相当にハンディキャップを縮めれば、その人の上達度合いは合格」と教えられたそうです。

多彩な体力増進を目的とした行事を常に行っていくことが、経営方針に対する心のよりどころとなり、西郷社長をはじめとした幹部の方々からバイタリティーがわき出てくるのではないかと感じました。

## さまざまな人とのふれあいで人間形成を

つぎに、同社の社員教育について西郷社長に語っていただきました。

れだと感じました。

そして、安房運輸の活力源を垣間見ることができました。お忙しいなか、取材にご協力いただきました。ありがとうございました。

帰るころには、花曇りのもと、沿

「日常業務における社員教育には限界がある。かぎられた場所での教育で、本当の人間形成はできない。当社は、さまざまな行事を通じて、地域住民・社員同士・家族とふれあうことで会社の基本姿勢をわかってもらい、安心して働ける職場であることを身をもって感じ取ってもらうことが大切」

このように、安房運輸では人材の養成に関して独自のスタンスで臨まれており、前述した運動会においてもチャリティー募金を募り、交通遺児基金に寄付し、交通安全協会から感謝状が贈られました。

道の菜の花や穏やかな内房の海が、時間の流れを緩やかにしているように見えました。きっとこの風景を見たら「ひねもすのたりのたりにかな」と蕪村の名句が頭の中を去来するのは、私たちだけではないでしょう。

「公道を職場としてお借りしている以上、なんらかの形で貢献しなければ」という考え方が、社員教育に寄与しているのではないのでしょうか。

## 企業の発展・社員の躍動・伝統と機動力をモットーに

話題は、同社の歴史へと移行します。

安房運輸は、昭和十八年十一月の誕生とのこと。国の指導のもと、企業合同をして最初は安房貨物自動車株式会社としてスタート。当時は海産物の輸送も行っていました。市場産物の構造変化に伴い、昭和二十三年から本格的に花の輸送を始めたのだそうです（現在、四、〇〇〇の生産者を有する安房地区の花の出荷



▲取材風景

## 西郷社長の健康法は「アウトドア」

明るく、精力的な西郷社長のおっしゃることに、私たちはそのつど驚きを隠せませんでした。社長の健康法について伺いますと、「アウトドア」と断言されました。また、いつも「ストレスはない」とのこと。企業のトップたる者、常に経営戦略を練り悩むのは必至。そんななかで、上手にストレスを解消し、またストレスをストレスと感じない工夫をされておられるのは、大きな責任感の現



▲(右から)安田部長、西郷社長、斉藤課長